フタバ 白井2発5打点!!

中日スポーツ杯 新春選抜リーグ

4回、2ランを放ちおどける白井

中日スポーツ杯争奪第66回愛知県軟式野球新春選抜リーグ戦第9日（中日スポーツ共催）は18日、パロマ瑞穂野球場であり、フタバ産業は6－1で菊水化学工業を下し5勝目（1引き分け）をあげた。9番の白井俊幸一塁手（27）＝岐阜協立大出＝が2本の2ランを放ち貢献した。三京アムコは7－0で大森石油を制し、小林クリエイトはイスコジャパンと0－0で引き分けた。

恐怖の9番打者

フタバ産業は1－1の4回2死一塁で9番の白井が左中間越えに2ランして勝ち越すと、8回1死二塁で左翼越えに再び2ランを放ち大勝に貢献した。2回の先制点も白井の中前適時打によるもので、3安打5打点をたたき出した。

ヒーローは「先制打で『きょうは振れてるな』と感じた。1本目のホームランは長打を狙った。2本目は甘い球が来た」と笑顔で振り返る。

8回裏、1死二塁で白井が左越えに2本目の2ランを放つ＝パロマ瑞穂野球場で（いずれも高野行正撮影）

大森石油（1勝5敗）
0000000
0500000X　70

三京アムコ（3勝3敗）
（7回コールドゲーム）

菊水化学工業（2勝3敗）
0001000000
0102100002X　61

フタバ産業（5勝1分）
（本塁打）白井2（フ）

小林クリエイト（1勝3敗1分）
0000000000
0000000000　00

イスコジャパン（3敗1分）

昨年ケガで無安打

自ら「恐怖の9番打者と呼んでください」と、ちゃめっ気たっぷりにアピール。明るいムードメーカーだが、この1年間は不調に苦しんだ。昨年4月に腰を痛め、昨シーズンは公式戦無安打に終わった。

復活のきっかけは今大会開幕の大森石油戦。第

【菊水化学工業】	打	安	点
左	蔦	佐	0
四	江	川	0
中	田	中	0
捕	小	塚	0
捕	岩	田	0
二	連	木	0
三	柳	沼	0
一	中	村	0
打	俊	辺	0
右	高	木	0
振球犠併残			
6	7	3	1
9	27	4	1

【フタバ産業】	打	安	点
二	杉	山	0
四	山	下	0
捕	佐々木	木	0
左	早	田	0
右	渡	辺	0
三	服	部	0
中	伊	藤	0
捕	小見	山	0
一	白	井	0
振球犠併残			
4	6	2	0
8	30	7	6

三佐々木、伊藤、中村、連水森フ2
失蝕2

投	手	回	打	安	失
内	野	8	38	7	6

国	広	2 1/3	10	1	0
安	富	4 2/3	19	2	1
奴	賀	2	8	1	0

【大森石油】	打	安	点
右	藤	徳	0
四	松岡	佑	0
二	松岡	岳	0
遊	石	放	0
三	熊	谷	0
一	西	野	0
捕	藤	田	0
捕	浦	田	0
中	寺	沢	0
振球犠併残			
7	3	1	0
4	21	1	0

【三京アムコ】	打	安	点
左	中	後	0
右	左	鶴	0
一	藤	沢	0
打	松	山	0
二	平	戸	0
捕	藤	江	0
三	牛	島	0
捕	小	柳	0
遊	吉	野	0
中	松	山	0
右	佐	藤	0
三	山	口	0
振球犠併残			
2	7	1	0
10	27	9	7

三藤沢、小柳津森
ア3失大1暴捕口

投	手	回	打	安	失
高	田	4	25	8	7
奥	山	1	6	1	0
縫	口	1	4	0	0

松	原	4	16	1	0
藤	井	3	9	0	0

【小林クリエイト】	打	安	点
左	都	築	0
四	川	西	0
捕	牛	島	0
二	杉	本	0
中	浜	崎	0
捕	奥	田	0
右	都	橋	0
三	藤	西	0
打	春	岡	0
二	徳	弘	0
一	宮	野	0
振球犠併残			
3	4	1	1
8	30	5	0

【イスコジャパン】	打	安	点
二	竹	延	0
遊	村	田	0
左	西	田	0
捕	長	鶴	0
右	林	林	0
捕	二	村	0
一	小	川	0